



愛育だより

地域に根ざした子育て支援

吉見町母子愛育会長 作山すみ子



皆様には、日頃より愛育班活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

吉見町母子愛育会は、昭和34年に発足し、今年度満60年を迎えることができました。

保健センターと協力して、世代を超えて地域のみんな子育てを応援しようという子育て支援事業に取り組んでいます。地区にお住いの妊婦さんや赤ちゃんのいる家庭に声をかける「声かけ活動・こんにちは赤ちゃん事業」を中心として、母子愛育思想の普及、母子保健事業の推進、役場や保健センターの事業への協力などに取り組んでいます。

「声かけ活動・こんにちは赤ちゃん事業」でお母さんにお会いすると、「近所に同じくらいの赤ちゃんはいますか」「引越したばかりで周りに知り合いもいなくて不安だった」といったお話を聞くこともあります。情報化社会が進み便利になる一方で、子育てをする母親が、悩みを相談できる相手や場所がないなどの問題を抱え、孤立してしまう危うさを感じています。地域のつながりが薄くなったといわれる中で、子どもを産み育てやすい環境を整えるため、私たち愛育班員の顔の見える関係づくりは、大切だと感じています。

時代とともに求められる役割を見据え、次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ育ち、幸せになることを願い、一歩一歩着実に歩んでいきたいと思えます。今後とも、皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

こんにちは赤ちゃん事業

吉見町に赤ちゃんが生まれると愛育班員が「こんにちは、お元気ですか」と訪問させていただいています。元気な赤ちゃんとお母さんが迎えてくれました。乳児健診の案内や事故防止のパンフレットをお渡ししながら、「お変わりはありませんか?」とご様子をうかがい、育児の体験やご近所ならではの身近な情報を伝えています。



訪問時にお渡しするプレゼントを作りました